

社外取締役メッセージ

財務体質の強化と 企業価値向上に向けて

コロナ禍においても、大胆な経営判断や施策がもたらした成功の数々が取締役全員の自信につながり、ここ数年で、取締役会はより充実したものになっていると感じます。

「中期経営計画2028」の策定にあたっては、取締役会で議論を重ね、なかでも資本コストを意識した経営の実現と、あわせて意思決定スピードの向上に向けて職務権限規程の改定を進めました。環境変化を踏まえ、財務体質の強化と企業価値向上に向けた事業戦略について検討、特に新規事業への着手を早めることで、事業ポートフォリオの変革を進める必要性を認識しました。さらに、3事業の戦略の明確化、人材、財務、サステナビリティ戦略と多岐にわたり議論しましたが、最終的には、個々の従業員が本計画を自分事として捉え、日常業務のなかで自らのスキルを発揮しながら取り組めることを重視しました。

私も今後、本計画の達成とさらなる企業価値向上に向けて、一層尽力していく所存です。



高見 和徳
社外取締役

1978年に松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）入社。パナソニック株式会社代表取締役副社長を経て、2019年3月、当社社外取締役就任。株式会社エフエム東京社外取締役、株式会社ノジマ社外取締役を兼職。

グループの成長に資する、 新社長の新たな挑戦に 期待したい

当社では、社外取締役を中心とした指名報酬委員会で、定期的にサクセッションプランを議論しており、そのなかで社長の選任案を審議し、2024年2月に取締役会に答申しました。新社長には創業の精神や伝統は維持しつつも、過去にとらわれず、グループの成長に資する新たな挑戦を期待しています。また、当社の事業を支えているのは、ホスピタリティ・マインドを持つ人材です。従業員がやりがいとチャレンジ精神を持って活躍できる組織風土に磨きをかけ、未来志向の組織運営に期待します。

さらなる成長に向けた課題としては、社内から女性役員がいまだ誕生していないことです。しかし近年は、女性の中堅層が組織運営などを任されるケースも増えています。性別を問わず、働きやすく活躍できる制度・環境も進化していることから、近い将来、女性管理職が増えていくと確信していますし、その実現に私自身も貢献できればと考えています。



鷹野 志穂
社外取締役

1987年に明治乳業株式会社（現 株式会社明治）入社。ロクシタンジャボン株式会社社長を経て、2019年3月、当社社外取締役就任。株式会社エトワ代表取締役社長、株式会社トキワ社外取締役、KANAMEL株式会社（旧 AOI TYO Holdings株式会社）社外取締役、株式会社ユナイテッドアローズ社外取締役監査等委員を兼職。

成長基盤の確立に向けて 優先すべきは、 財務体質の改善

「中期経営計画2028」の策定においては、外部環境の変化にもゆるがない成長基盤と財務基盤の構築、および人材育成などの観点を重視しました。本計画で掲げた定量・定性目標を達成するには、財務体質の改善が優先事項となります。なぜなら、年間売上高と同程度の借入金を背負った現在の状態が続けば、経営判断の誤りや、業務執行上の重大な過失が生じた際に、大きな危機に陥ってしまうからです。

計画達成の確度を上げるカギは、当社グループの強みである「ホテル椿山荘東京」をはじめとした事業資産と人材です。貴重な文化財や歴史的な建造物、四季折々の庭園、従業員によるきめ細かなサービスこそが最大の強みであり、企業価値を生み出している源泉と言えます。半面、弱みは、コロナ禍で直面した経営危機などが再来した場合、これらの強みが反転してしまうリスクです。こうしたリスクを低減すべく、日頃から、従業員教育を継続することが大切だと思います。



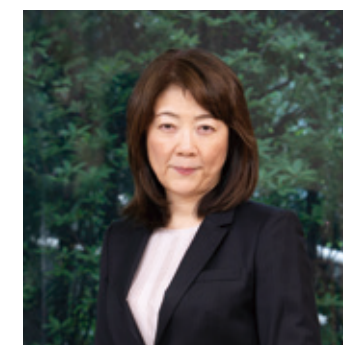
山田 政雄
社外取締役

1978年に同和鉱業株式会社（現 DOWAホールディングス株式会社）入社。DOWAホールディングス株式会社代表取締役社長、同社代表取締役会長に就任。2019年3月、当社社外取締役就任。DOWAホールディングス株式会社代表取締役会長、株式会社CKサンエツ社外取締役監査等委員を兼職。

コロナ禍でスピーディーに 推進した構造改革を高く評価

藤田観光は社名にある「観光」が示す通り、ホテル・旅館業の領域を超えて、都市型リゾート、婚礼・宴会、レジャー施設など、保有する歴史的建造物や文化財を背景に幅広い事業を展開するユニークな企業です。施設を利用した際はホスピタリティあふれるサービスに心が温まり、このような会社に関われることを光栄に思います。また、コロナ禍の厳しい事業環境下では、資産売却やコスト改革、資本拡充策などの構造改革をスピーディーに推進し、現在のV字回復につながっていることを高く評価しています。

社外取締役の役割は、事業の持続的成長や企業価値向上に向けて、客観的な立場から経営方針などに助言を行うこと、またステークホルダーの立場に立った意見を取締役会に適切に反映させることだと考えます。私は金融機関で長年にわたり培った法人営業などの経験や、現在サービス業に携わる経験を生かし、当社がより多くのお客さまから愛され続けるよう、職務を果たしていきます。



浅井 紀久子
社外取締役

1987年に株式会社日本興業銀行（現 株式会社みずほ銀行）入行。株式会社ビー・ワイ・オー取締役管理本部長を経て、同社経営企画・管理本部長就任後、2024年3月、当社社外取締役就任。株式会社ビー・ワイ・オー経営企画・管理本部長を兼職。